日本の
ひなた
宮崎県

# みやざきのうごき2026











## contents

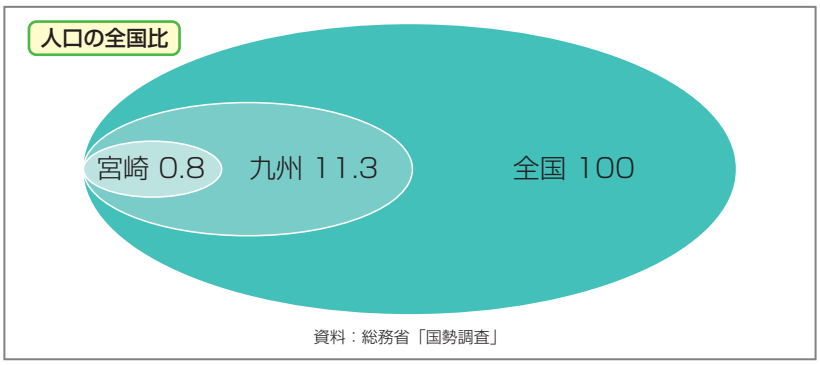

1 宮崎県のすがた
2 人口のうごき
3 経済のうごき
4 宮崎県総合計画
5 日本一挑戦プロジェクトの総仕上げ
6 人口減少社会に適応する持続可能なくらし・産業づくり
7 未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり
8 行財政改革の推進
9 宮崎県の財政
10 宮崎県の主な県政のうごき
11 宮崎県のあゆみ
12 全国から見た宮崎県

# 1 宮崎県のすがた



## 1 人 口

●県の人口は 1,019 千人（令和７年１０月１日速報値）で、全国人口の約 0.8％となっています。

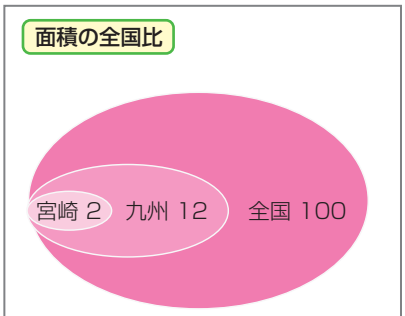



資料：総務省「国勢調査」

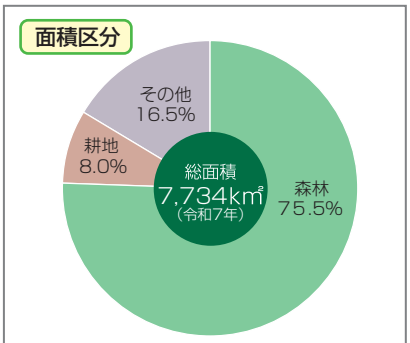
## 2 面 積 等

●県土面積は 7,734km² で、国土の約 2％を占めており、9 市 14 町 3 村で構成されています。

●その中で、森林(5,843km²)が 75.5％、耕地(618km²)が 8.0％となっており、緑豊かな地勢となっています。




資料：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」




資料：農林水産省調・国土地理院

## 3 気 候

●平均気温が高く、温暖な気候に恵まれ、日照時間は全国でもトップクラスにあるなど、優れた自然条件を有しています。

●降水量が多く、広大な森林と相まって豊富で良質な水資源に恵まれています。

| | | |
|---|---|---|
| 日照時間 | 2,122時間 | （全国6位） |
| 平均気温 | 17.7℃ | （全国3位） |
| 降水量 | 2,626mm | （全国2位） |

資料：気象庁「日本気候表」（宮崎市、平成３年～令和２年の平均）

## 4 自 然 環 境

●本県は、緑豊かな山々や美しい海岸線など優れた自然環境に恵まれており、自然公園面積は 91,919ha で、県土の約 12％を占めているほか、105ha の海域公園地区が指定されています。

●全国に先駆けて制定した沿道修景美化条例などに基づいて、沿道の修景、自然環境の保全と創出に努め、郷土の美化を推進しています。



沿道修景植栽地区

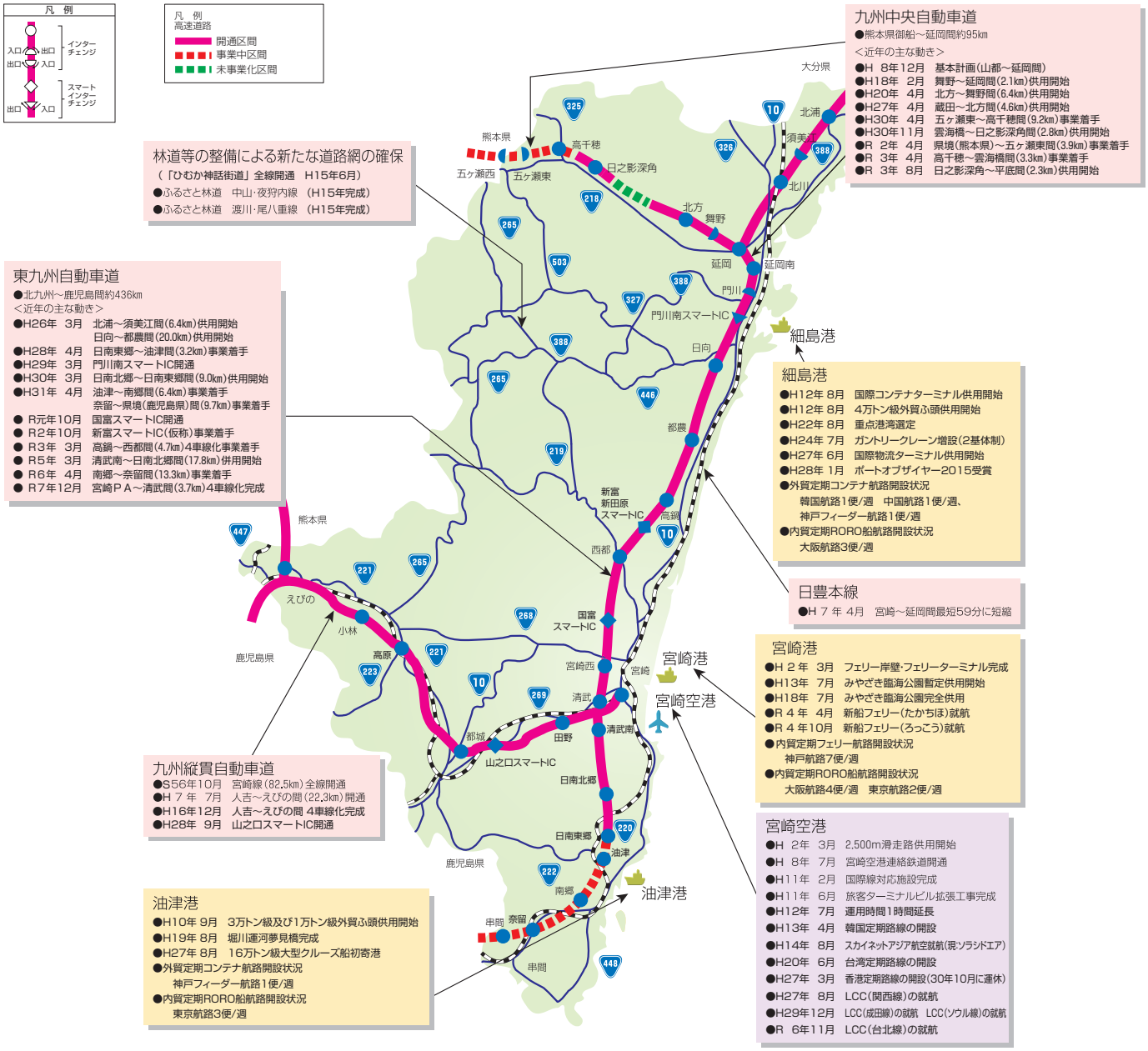
| | | |
|---|---|---|
| 国立公園 | | 1公園　13,006ha（霧島錦江湾） |
| 国定公園 | | 4公園　31,968ha（日南海岸、祖母傾、日豊海岸、九州中央山地） |
| | 海域公園地区 | 2公園　105ha<br>12地区（日南海岸、日豊海岸） |
| 県指定 | 県立自然公園 | 6公園　46,945ha（尾鈴、西都原杉安峡、母智丘関之尾、わにつか、矢岳高原、祖母傾） |
| | 自然環境保全地域 | 2か所　184ha（樫葉、掃部岳北部） |
| | 緑地環境保全地域 | 4か所　21ha（森谷観音、大斗滝、三之宮峡、長谷観音） |
| | 沿道自然景観地区 | 18か所　1,026ha |
| | 沿道修景植栽地区 | 70地区　155.8km |

資料：自然環境課（R8.3.31）
道路保全課（R8.3.31）

## 5 総合交通網

### ●総合交通網の整備状況

東九州自動車道及び九州中央自動車道をはじめとする高速道路や国県道などの整備による「県内１時間構想」の実現、空港・港湾の整備等に向けて、積極的な取組を行っています。




| 空路 | 東京（羽田） | 東京（成田） | 名古屋（中部） | 大阪（伊丹） | 大阪（関西） | 福岡 | 沖縄（那覇） | ソウル | 台北 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 90分（日17往復） | 105分（日1往復） | 75分（日3往復） | 60分（日11往復） | 65分（日1往復） | 40分（日13往復） | 85分（日1往復） | 90分（週3往復） | 120分（週2往復） |

| 高速バス 宮崎（宮崎駅）～ | 福岡 | 長崎 | 熊本 | 新八代（B&S） | 鹿児島空港 | 高千穂 | 高速バス 延岡（延岡駅）～ | 福岡 | 熊本 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4時間27分（日21往復） | 5時間25分（日2往復）※季節運行 | 3時間35分（日9往復） | 2時間12分（日15往復） | 1時間55分（日1往復） | 2時間40分 休止中 | | 4時間20分（日4往復） | 4時間5分（日1往復） |

| 鉄道 宮崎（宮崎駅）～ | 博多（鹿児島中央経由） | 博多（小倉経由） | 博多（B＆S） | 小倉（大分経由） | 大分 | 鹿児島中央 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 3時間38分(415km) | 5時間00分(407km) | 3時間15分 | 4時間33分(340km) | 3時間00分(207km) | 2時間4分（126km） |

| カーフェリー 宮崎（宮崎港）～ | 神戸 | RORO 船 宮崎（宮崎港）～ | 大阪① | 大阪② | 東京 | RORO 船 日向（細島港）～ | 大阪 | RORO 船 日南（油津港）～ | 東京 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 12 時間 20 分（週 7 便） | | 20 時間（週 3 便） | 16 時間（週 1 便） | 36 時間（週 2 便） | | 14 時間（週 3 便） | | 25 時間（週 3 便） |

| 外貿定期航路 日向（細島港）～ | 釜山（韓国） | 上海（中国） | 神戸（フィーダー） | 外貿定期航路 日南（油津港）～ | 神戸（フィーダー） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 1 日（週 1 便） | 3 日（週 1 便） | 2 日（週 1 便） | | 2 日（週 1 便） |

（R8.5月現在）

※ 時間は、往復のうち最短時間を記載している。
※ RORO 船：トラックやトレーラーが自走で船に乗り込み、貨物を積載したまま運搬できる貨物用の船舶。
※ フィーダー：国内の主要港湾で中継され、外国の港湾へ接続する航路。

# 2 人口のうごき



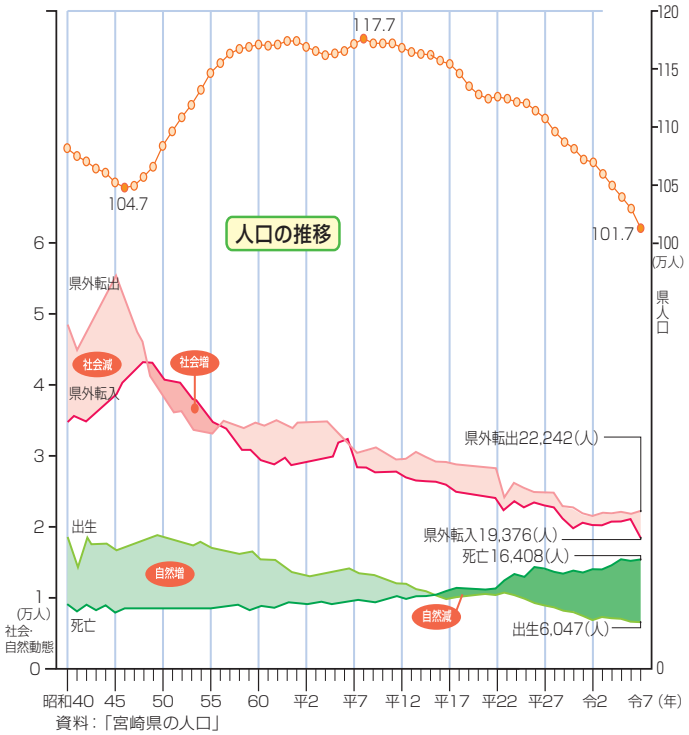
## 1 人口の動態

●本県の総人口は、昭和46年（104万7千人）を境に増加基調に転じ、転出数の大幅な減少などを背景に昭和50年代前半まで高い伸びを示しました。

●その後、人口増加率は低下を続け、県人口は、平成8年（117万7千人）をピークに減少傾向にあります。

●自然動態をみると、自然増減数（出生数－死亡数）は、出生数の減少に伴い、昭和55年以降は減少傾向にあり、平成15年には自然減に転じています。

●社会動態は、昭和56年以降、転出超過に転じた後、平成5～6年には転入と転出がほぼ同数となりましたが、平成7年以降、再び転出超過が続いています。




資料：「宮崎県の人口」

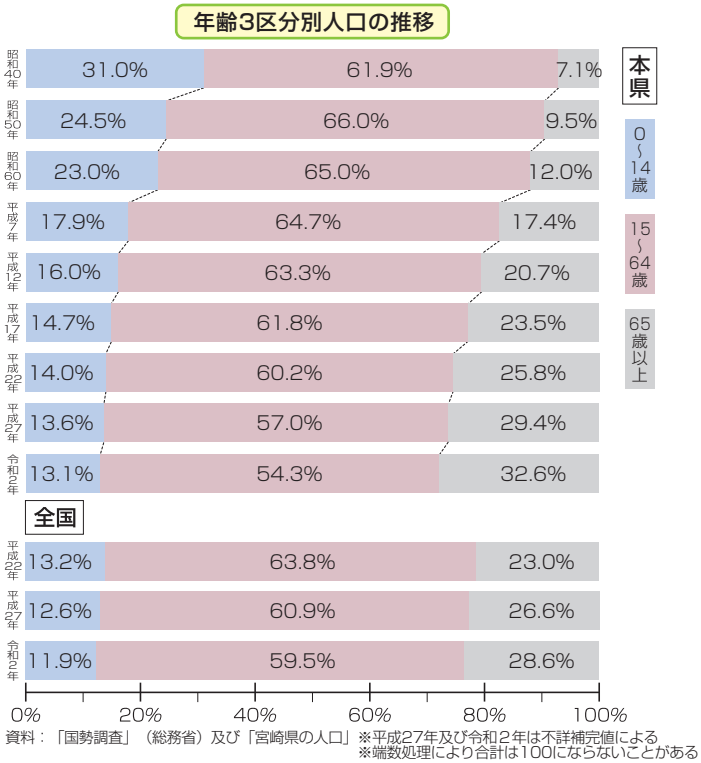
## 2 年齢（3区分）別人口の推移

●本県の65歳以上人口は、昭和40年の7万7千人から令和6年には35万1千人と約4.6倍に増加しております。

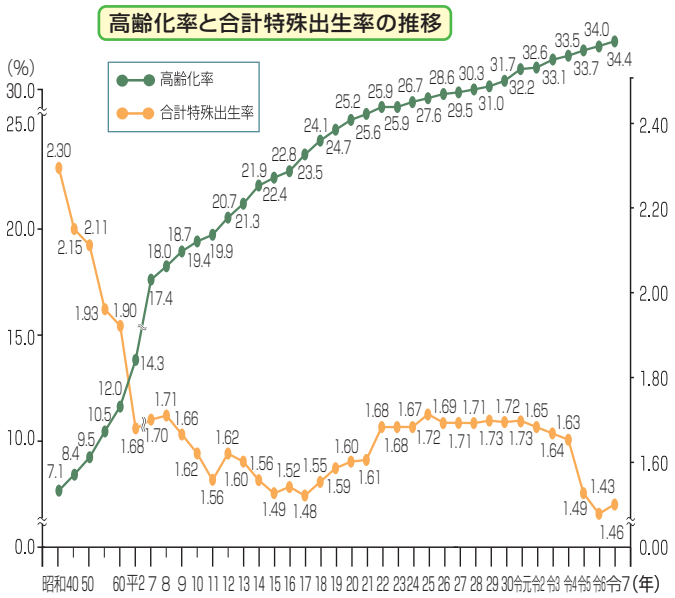
●平成8年以降は、65歳以上の人口割合が14歳以下の人口割合を上回る状況となっています。

●合計特殊出生率※は、1.46（令和7年）と全国の数値1.14を大きく上回っていますが、現在の人口を維持するために必要な水準2.07を下回っています。

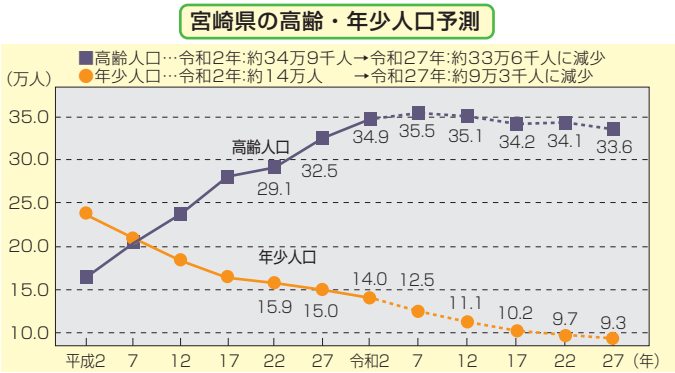
※合計特殊出生率：1人の女性が生涯に何人の子供を生むかを示す指標。




資料：「国勢調査」（総務省）及び「宮崎県の人口」※平成27年及び令和2年は不詳補完値による
※端数処理により合計は100にならないことがある




資料：「国勢調査」「宮崎県の人口」「人口動態統計」
令和７年の合計特殊出生率は概数



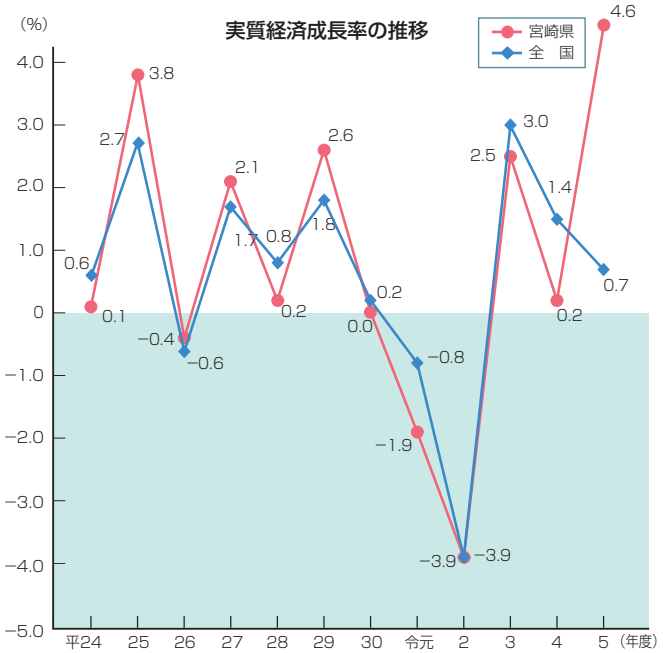

資料：令和2年までは「国勢調査」※平成27年及び令和２年は不詳補完値による
令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

# 3 経済のうごき



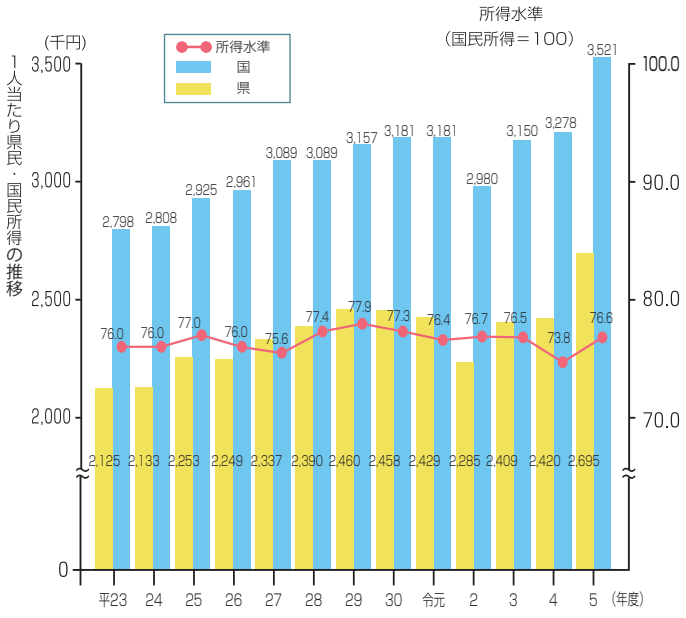
## 1 経済成長率（実質）

●令和5年度の県内総生産
名目県内総生産　3兆9,853億円
実質県内総生産　3兆8,067億円




資料：「宮崎県県民経済計算」「国民経済計算年報」

## 2 県民所得の推移（人口一人当たり）




資料：「宮崎県県民経済計算」「国民経済計算年報」

## 3 産 業 構 造

### 1．県(国)内総生産(名目)

【本県】（年度）　第1次産業　第2次産業　第3次産業　単位（%）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 1兆6,970億円 | | | |
| S55年 | 12.3 | 27.7 | 62.8 | |
| | 3兆9,853億円 | | | |
| R5年 | 4.5 | 25.0 | 69.6 | |

【全国】（暦 年）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 243兆円 | | | |
| S55年 | 3.6 | 37.8 | 62.8 | |
| | 592兆円 | | | |
| R5年 | −0.9 | 26.1 | 72.9 | |

資料：「宮崎県県民経済計算」「国民経済計算年報」
※輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、内訳合計は100%にならない。
※本県の昭和55年の値は68SNAに基づく値。それ以外は08SNAに基づく値。

### 2. 就業人口

【本県】　第1次産業　第2次産業　第3次産業　単位（%）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 55万9千人 | | | |
| S55年 | 23.7 | 24.5 | 51.8 | |
| | 53万5千人 | | | |
| H27年 | 10.8 | 21.0 | 68.2 | |
| | 53万3千人 | | | |
| R2年 | 9.8 | 20.7 | 69.5 | |

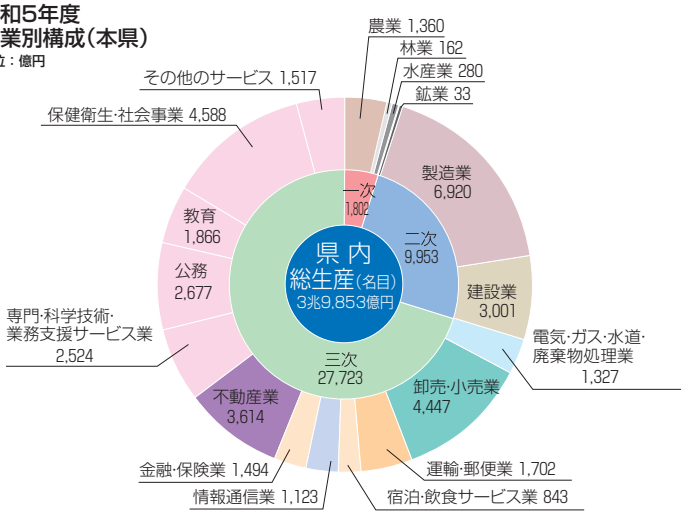
【全国】

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 5,581万1千人 | | | |
| S55年 | 10.9 | 33.6 | 55.4 | |
| | 6,381万人 | | | |
| H27年 | 3.7 | 24.6 | 71.7 | |
| | 6,546万8千人 | | | |
| R2年 | 3.2 | 23.4 | 73.4 | |

資料：「国勢調査」
※平成27年及び令和2年は不詳補完値により算出
※昭和55年の人口及び割合は不詳を除いて算出
※端数処理により合計は100にならないことがある

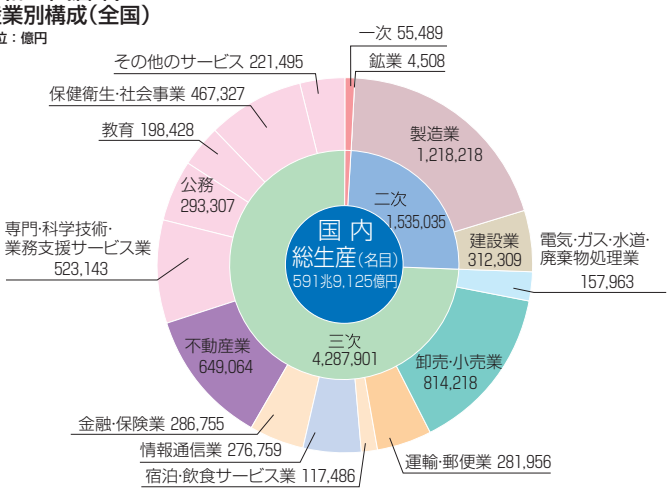
### 令和5年度 産業別構成（本県）

単位：億円




### 令和5年（暦年） 産業別構成（全国）

単位：億円




※県内（国内）総生産は、輸入品に課される税・関税等が加算控除されているため、各産業の合計とは一致しない。

# 4 宮崎県総合計画



宮崎県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。
「長期ビジョン」は、令和 22 年（2040 年）の将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。
「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和 5 年度～令和 8 年度（2023 ～ 2026 年度）の 4 年間に重点的・優先的に取り組む 5 つの重点プログラムを設定しています。

## 宮崎県総合計画

### 長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望

#### 【基本理念】安心と希望の未来への展望

| 将来像 1 | 将来像 2 | 将来像 3 |
|---|---|---|
| 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会 | 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会 | 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会 |

#### 未来に必要な５つの要素（キーワード）

- 持続可能性
- デジタル・先端技術・イノベーション
- 人材力
- 地域力
- きずな・つながり

#### 今後の方向性

| | |
|---|---|
| 1 | 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持 |
| 2 | くらしを支え、未来を拓く産業づくり |
| 3 | 人生を豊かに過ごせる地域づくり |
| 4 | 将来の人口安定化に向けた社会づくり |

### アクションプラン(令和５～８年度の４年間)

#### ５つの重点プログラム

| | |
|---|---|
| Ⅰ | コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生 |
| Ⅱ | 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり |
| Ⅲ | 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍 |
| Ⅳ | 社会減ゼロへの挑戦 |
| Ⅴ | 力強い産業の創出・地域経済の活性化 |

知事の政策提案

※都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置づけています。

# アクションプラン ５つの重点プログラム

## プログラムⅠ　コロナ禍･物価高騰等からの宮崎再生




- ▶県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実
- ▶県民生活・地域経済の早期回復
- ▶魅力あふれる「観光みやざき」の創生

【主な取組内容】

医療・福祉人材の確保・育成対策の強化、貧困や孤立など困難を抱える人への支援、中小企業・小規模事業者への支援、「スポーツランドみやざき」のブランド力向上などに取り組みます。

## プログラムⅡ　希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり



- ▶希望ある未来への挑戦
- ▶交通・物流ネットワークの維持・充実
- ▶命や暮らしを守る災害に強い県づくり

【主な取組内容】

次世代モビリティやメタバースなど未来技術の活用検討、持続可能な地域交通網の構築、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策などに取り組みます。

## プログラムⅢ　「みやざき」の未来を創る人材の育成･活躍



- ▶子どもを生み育てやすい県づくり
- ▶未来を担う子どもたちの育成
- ▶一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり
- ▶健康・学び・スポーツ・文化の充実

【主な取組内容】

結婚・出産の希望がかなう環境づくり、新たな時代を生き抜く力を育む教育・キャリア教育などの推進、女性や障がい者、高齢者、外国人など様々な人が活躍できる社会づくり、健康づくりや生涯学習、スポーツ・文化交流の促進などに取り組みます。

## プログラムⅣ　社会減ゼロへの挑戦




- ▶若者・女性の県内就業・県内定着の促進
- ▶みやざき回帰・県外からの移住の促進
- ▶安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

【主な取組内容】

「みやざきで暮らし、働く」良さの創出と情報発信、移住の促進や関係人口・交流人口の拡大、中山間地域の振興、ゼロカーボン社会づくり、交通安全・防犯対策などに取り組みます。

## プログラムⅤ　力強い産業の創出･地域経済の活性化




- ▶産業を支える多様な人材の確保・育成
- ▶新産業の創出と地域経済の活性化
- ▶稼げる農林水産業への成長促進

【主な取組内容】

ＩＣＴ技術者等の確保・育成、世界市場への積極的な展開、先端技術等を活用した持続可能な農林水産業への転換などに取り組みます。

# 5 日本一挑戦プロジェクトの総仕上げ



## 子ども･若者プロジェクト

### 目指す姿 日本一生み育てやすい県への挑戦

～県･市町村一丸となって、子ども･若者政策の好循環を創出し、人口減少を抑制～

### 1. 主な指標の進捗

○合計特殊出生率
　プロジェクト前(R4):1.63 ⇒ 目標:1.8台　　現況(R7):1.46（全国第2位）

○婚姻数
　プロジェクト前(R4):3,805組 ⇒ 目標:4,500組　　現況(R7):3,419組

○県内高校生海外留学者数
　プロジェクト前(R1):88人 ⇒ 目標:400人　　現況(R7):345人

### 2. 令和8年度の取組

**若者の移住促進住まい整備**

○中山間地域における移住希望者の住居を確保することを目的に、市町村の空き家改修等を支援します。建物の劣化度等の調査、改修費用等を支援対象とし、若者の中山間地域への移住を促進し、地域の担い手確保及び活性化を図ります。



**子育てにやさしいまちづくり**

○子育て世帯の利用が多く見込まれる県立施設にベビーケアルームを設置するとともに、民間企業に対してオムツ替えスペース等の整備に要する費用を補助することにより、子育て世帯が気軽に外出できる環境づくりを推進します。



県内の市町村庁舎に設置してあるベビーケアルーム

**物価高対応子育て応援手当上乗せ支給**

○本県の子育て世帯は、長期化する物価高騰の影響を含め、経済的負担が大きくなっていることから、国が支給する物価高対応子育て応援手当（2万円）に、本県独自に1万5千円の上乗せ支給を行います。




## グリーン成長プロジェクト

### 目指す姿 再造林率日本一への挑戦

～ゼロカーボン社会と地域資源を活用した産業成長の実現～

### 1. 主な指標の進捗

○再造林率
　プロジェクト前(H30 ～ R2平均):73% ⇒ 目標:90%以上　　現況(R6):79%（全国第3位）

○再造林推進ネットワーク会員数
　プロジェクト前：数値なし ⇒ 目標:400者　　現況(R7):315者

○粗飼料自給率
　プロジェクト前(R3):88% ⇒ 目標:100%　　現況(R6):87%

## 2. 令和8年度の取組

### 再造林率向上強化対策

○市町村と連携した再造林や下刈りへの補助金の嵩上げにより、森林所有者の負担軽減や造林作業員の所得向上を図り、再造林率の更なる向上を目指します。



### みやざき材海外輸出加速化

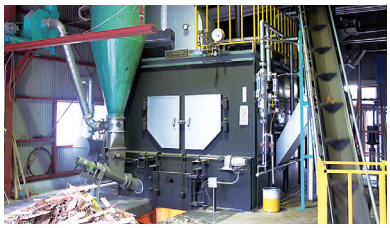
○人口減により国内での木材需要の厳しさが増す中で、県産材製品の輸出促進に取り組んでいる韓国・台湾に加え、新たな海外販路を開拓し、持続可能で高付加価値な県産材製品の輸出を加速させます。



輸出先での現地構造見学セミナー（韓国）

### 木材産業経営コスト削減支援

○燃油・資材価格の高騰等の影響を受ける中小製材工場等に対し、省エネ化・省力化等を図るための機械設備の導入や改修等を支援することで、経営の安定・改善を図り、県産材の持続可能な加工・供給体制を再構築します。



省エネ施設の導入（木屑焚きボイラー）

# スポーツ観光プロジェクト

**目指す姿** **スポーツ環境日本一への挑戦**

～スポーツ環境の充実により、地域経済の活性化、観光振興などの好循環を創出～

## 1. 主な指標の進捗

○プロチームキャンプ数（野球･サッカー･ラグビー）

プロジェクト前(R4)：32チーム ⇒ 目標:43チーム　　現況(R7)：32チーム(全国第2位)

○春季キャンプ・合宿の経済効果

プロジェクト前(R4)：118億円 ⇒ 目標:150億円　　現況(R7)：126億円

○観光入込客数

プロジェクト前(R4)：12,691千人回 ⇒ 目標:16,500千人回　　現況(R6):15,315千人回

## 2. 令和8年度の取組

### 大規模キャンプ・スポーツ大会等開催支援

○国スポ新施設等を有効に活用し、スポーツキャンプや大規模大会等の誘致に取り組むことで、全県化や通年化を図り、県外からの誘客数の増加などによる経済効果の波及を図ります。



### スポーツランドみやざき誘客対策

○官民一体となってスポーツイベント・大会や合宿の誘致に取り組み、県外からの誘客につなげることで、スポーツ観光の全県化・通年化を図り、スポーツランドみやざきの進化と深化を目指します。





# 6 人口減少社会に適応する持続可能なくらし・産業づくり



## 持続可能で安全・安心なくらしづくり

### 暮らしを支える地域物流イノベーション




○ドライバー不足等により機能の低下が懸念される地域物流や幹線輸送等の効率化を推進し、本県の物流網の維持・充実を図るため、官民連携による共同配送の検証や遠隔・自動点呼システムなどのデジタル技術の活用支援、海上航路等を利用するモーダルシフトへの補助を行います。

### 中山間地域くらしサポートネットワーク構築




○人口減少が急速に進展する中山間地域で生活インフラ機能を確保するため、県や市町村、民間事業者で構成する協議会を設立し議論を深めるとともに、市町村による買い物や金融などの日常生活に不可欠な機能の維持・確保に向けた取組を支援することで、将来にわたって安心して暮らし続けることのできる中山間地域を創ります。

### ともに支え合う地域のつながり創出




○適切な支援につながらずに課題を抱える人を地域のつながりをとおして把握し、切れ目のない支援を提供するため、新たな居場所（交流や活躍の場）を整備することで、誰もが役割と生きがいを持ち、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

### 医療・福祉分野における事業継続に向けた緊急支援



○光熱費や食材料費等の高騰の影響を受ける医療機関や社会福祉施設等に支援金を支給することにより事業者の負担軽減を図り、従事者の処遇改善や事業継続に向けた支援等を実施することで地域に必要な医療提供体制を確保し、社会福祉人材の確保・職場定着を図ります。

## 海外連携強化による外国人材確保




○令和８年５月にインドネシア共和国政府等と人材確保に関する連携合意書に署名しました。合意の具体的な取組として、県内事業者と外国人材確保に係る関係機関とのマッチングイベントの開催や、現地における本県及び県内事業者のＰＲにより、質の高い外国人材の確保を促進し、本県産業の維持・活性化を図ります。

## みやざきの神楽を世界へ




○令和10年（2028年）の神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、本県の貴重な文化資源である「みやざきの神楽」の奥深い魅力を世界に発信します。古より受け継がれてきた神楽は、地域に根付くかけがえのない宝物です。その文化的・歴史的価値を広く伝え、魅力を確立することで、この素晴らしい伝統を次世代へしっかりと引き継ぎます。

## みやざきデジタル施設園芸産地拡大



○きゅうりやピーマン等の施設園芸において、ＡＩが温度などの栽培環境や出荷量のデータを分析し、栽培管理の改善を提案する機能等の開発と現場実装を進めるなど、デジタル技術を活用した生産性向上により、農家所得の増加を図ります。

## 県内事業者の「稼ぐ力」強化支援

○物価高騰等で厳しい経営環境に置かれている県内中小企業・小規模事業者に対し、生産性向上等のための設備投資や経営力強化を支援することにより、人口減少下においても地域経済の維持・発展を支えることのできる「稼ぐ力」を備えた事業者の増加を促進します。

# 7 未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり



## 未来みやざき成長基金の設置

○置県150年（令和15年）を見据え、「未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり」に係る施策を機動的かつ継続的に展開していくため、ふるさと納税を活用し、新たな基金を設置しました。期間は令和8年度から16年度まで（R16は精算期間）、規模は120億円程度を想定しています。

| 1 国スポ・障スポ開催を契機とした地域振興 | 2 国内外との架け橋となる広域交通ネットワークの整備加速化 | 3 置県150年を見据えたソフト・ハード両面からの先駆的な取組 |
|---|---|---|
| ➢ 来県者へのおもてなし・気運醸成<br>➢ レガシーを最大限活用した地域振興 | ➢ 国際線の拡充<br>➢ 新幹線整備実現に向けた機運醸成 | ➢ 未来みやざき成長県民会議（仮称）の設置<br>➢ 地域資源や社会資本を次世代に引き継ぐ新たな付加価値の創出（ソフト・ハード） |

**経済効果**

○レガシーを活用したスポーツの成長産業化
R6:年間 約170億円 ⇒ R15:年間 400億円
※国スポ新施設等の活用による県内への経済効果の推計
→ 2倍以上に！！

○国際線の拡充
R6:年間 約50億円 ⇒ R15:年間 80億円
※国際定期便利用者による県内への経済効果の推計
→ 1.5倍以上に！！

## 国スポ・障スポ開催を契機とした地域振興

### 来県者へのおもてなし・機運醸成

### Hinata Base～みやざきの魅力発信拠点～

○宮崎を舞台としたスポーツ・神楽のＶＲ映像や焼酎の飲み比べなどが一度に体験できる拠点を宮崎駅の西口に設置し、来県者に本県の魅力に実際に触れてもらうことで、新たな観光誘客につなげます。



写真は大阪万博宮崎県ブース

### 国スポ・障スポに向けたユニバーサルツーリズム受入環境整備

○令和9年「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」の参加者等の受入に向けて、宿泊施設のユニバーサルデザイン化に係る改修や設備導入に対する支援を行い、本県を訪れる障スポ参加者等の利便性や満足度の向上を図ります。



### 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ応援団活動支援

○県内各地域での「国スポ・障スポ応援団」の結成を促し、応援団が主体となった国スポ・障スポを盛り上げるための活動を支援することにより、県全体での気運醸成を図ります。



国スポレガシーのフル活用

## 宿泊施設立地促進等支援




○国スポ施設の完成・供用等に伴い、施設周辺の宿泊施設の立地やキャパシティ拡充により受入体制を強化することで、プロスポーツキャンプや国際スポーツ大会、大規模イベントなどの戦略的誘致を促進し、地域への経済効果の最大化を図ります。

国内外との架け橋となる広域交通ネットワークの整備加速化

## 「みやざきの空」航空ネットワーク拡充




○国際線の新規路線誘致をはじめ、既存定期便等の活用を通じて、観光・ビジネス両面の「交流人口」を拡大します。これにより、企業誘致や人材確保、販路拡大を促進し、地域経済の持続的な成長基盤を築きます。

置県150年を見据えたソフト・ハード両面からの先駆的な取組の推進

## 置県150年 ネクストプロジェクト創出

○置県150年に向けた機運醸成を図るため、各分野で活躍する若者との意見交換や、子ども・若者が宮崎の歴史やこれからの未来について楽しく学べるイベントを開催します。また、置県150年を見据えた先駆的な取組（ソフト・ハード）についての企画・調査を実施します。



# 8 行財政改革の推進



限られた人員･財源の中で、多様化･高度化する県民ニーズに的確に対応しながら、県民本位の行財政改革を推進するため、「みやざき行財政改革プラン（第四期）」に基づき様々な取組を着実に推進することにより、持続可能な行財政基盤の確立を図ります。

## みやざき行財政改革プラン（第四期）の概要

### 基本理念

県総合計画の基本理念『安心と希望の未来への展望』を
支える持続可能な行財政基盤の確立

**○推進期間**

令和5年度～令和8年度（4年間）

**○推進体制**

行財政改革推進本部（本部長:知事）を中心とした全庁的な行財政改革を推進するとともに、行財政改革懇談会（外部有識者）に意見を求めます。

**○進捗状況等の公表**

県民に分かりやすい形で毎年度公表します。

**【改革プログラム】**

**改革の視点1　県政運営を支える行政基盤の構築と人材づくり**

（1）簡素で効率的な行政組織等の整備
　組織体制の見直し、適正な定員･給与の管理、公社等改革の推進等
（2）信頼性を高める行政運営
　法令遵守意識の徹底、内部統制制度の適切な運用と監査制度の充実等
（3）県政運営の透明性の確保
　効果的･効率的な政策の形成･推進、情報公開制度の適切な運用等
（4）県政を担う人材の育成･確保
　行政ニーズに応じた多様な人材確保、女性職員の活躍推進等

**改革の視点2　多様な主体との連携と県民目線のサービスの提供**

（1）多様な主体との連携･協働
　企業、大学、NPO、ボランティア等との連携･協働等
（2）市町村等との連携
　市町村や国の機関との連携、市町村間連携の取組支援等
（3）県政情報の発信と県民ニーズの把握
　分かりやすい適時･的確な広報等
（4）県民サービス･利便性の向上
　行政手続の簡素効率化、相談窓口の利便性向上等

**改革の視点3　行政のデジタル化と働き方改革の推進**

（1）行政サービスのデジタル化の推進
　ICT等を活用した行政サービスの利便性向上等
（2）ICTの活用等による業務効率化
　ICTを活用した業務効率化、デジタル人材の育成等
（3）全ての職員が働きやすい職場環境づくり
　柔軟な働き方の推進、仕事と子育て･介護が両立できる職場環境の整備等

**改革の視点4　健全な財務基盤の構築と資産の有効活用**

（1）自主財源の確保とコスト縮減
　県税収入確保に関する取組強化、省エネ･省資源の徹底等
（2）県有財産等の資産の有効活用
　公共施設等の総合的かつ計画的な管理、知的財産権の取得と活用促進等

**財政健全化指針**

# 9 宮崎県の財政



## ●本県の財政状況

本県財政は、県税等の自主財源に乏しい脆弱な財政基盤にあり、今後、社会保障関係費に加え、物価高騰等対策や防災・減災対策、公共施設の老朽化対策等に多額の財政負担が見込まれることから、引き続き健全な財政運営を行っていく必要があります。

## ●令和８年度当初予算の概要

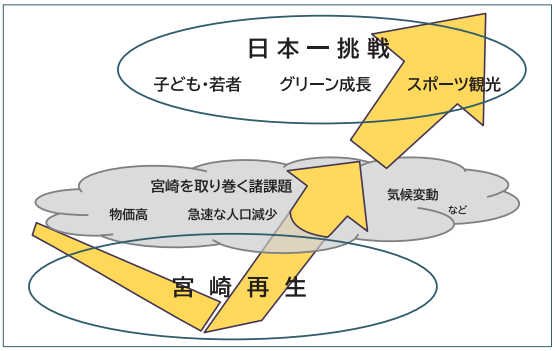
予算額（一般会計）は、以下の考え方に基づき編成し、前年度当初予算額と比べ、３．３％増の６，９００億円となっています。

□ 令和8年度当初予算については、日本一挑戦プロジェクトをはじめとする「重点施策の推進」及び「財政の健全性の確保」の大きな2つの考え方に基づき、これまでの取組を次なる成長へと確実につなげ、みやざきの未来を創る予算として、以下の三本柱で編成しています。

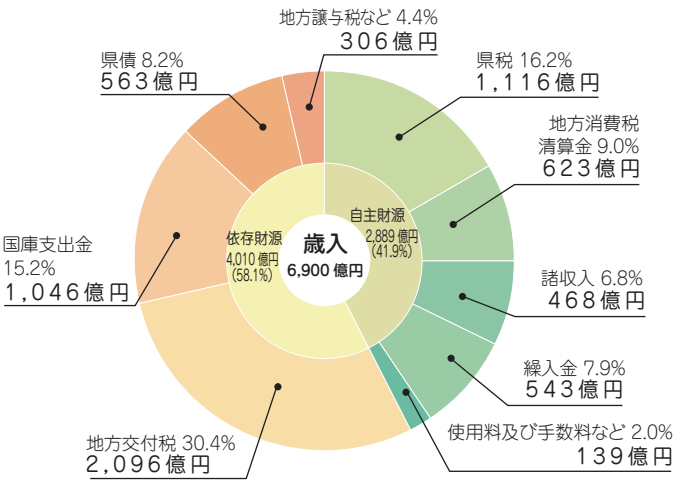
**１　日本一挑戦プロジェクトの総仕上げ**
（1）子ども・若者　～日本一生み育てやすい県へ～
（2）グリーン成長　～再造林率日本一へ～
（3）スポーツ観光　～スポーツ環境日本一へ～

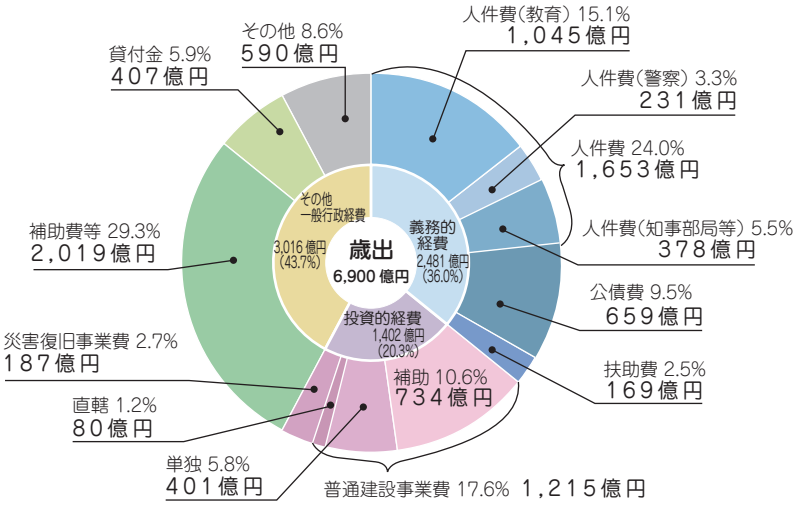
**２　人口減少社会に適応する持続可能なくらし・産業づくり**
（1）持続可能で安全・安心なくらしづくり
（2）人口減少下でも成長する高付加価値型の「稼ぐ」産業づくり

**３　未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり**
（1）国スポ・障スポ開催を契機とした地域振興
（2）国内外との架け橋となる広域交通ネットワークの整備加速化
（3）置県150年を見据えたソフト・ハード両面からの先駆的な取組の推進

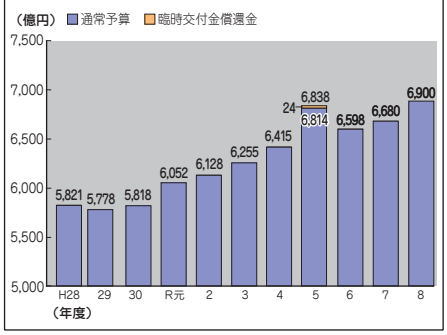



## 宮崎県の歳入・歳出（一般会計）



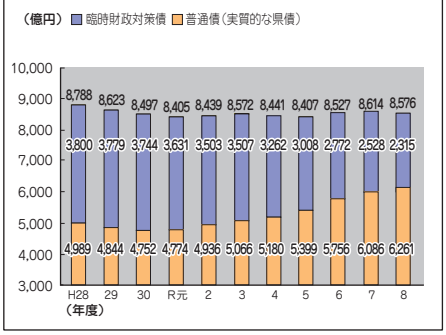




### 予算規模の推移（当初予算）



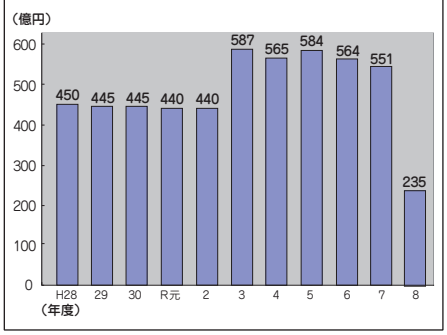

※平成27年度、令和元年度、令和５年度は６月補正後の予算額
※令和５年度の24億円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金償還金

### 県債残高の推移（各年度末）




※令和６年度までは決算額、令和７年度は２月補正後、令和８年度は当初予算編成後の見込額
※臨時財政対策債：地方交付税の代替財源として措置される県債。償還金の全額が後年度交付税措置される。
※普通債：特例的な県債（臨時財政対策債等）を除く実質的な県債

### 財政関係２基金残高の推移（各年度末）




※財政関係２基金：財政調整積立金、県債管理基金（財源調整部分）
※令和６年度までは決算額、令和７年度は２月補正後、令和８年度は当初予算編成後の見込額

# 10 令和7年4月～令和8年3月 宮崎の主な県政のうごき



### ○令和7年4月
### 「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」公式ポスターデザイン表彰式及び大型看板除幕式




158点もの応募作品の中から選ばれた、最優秀賞を含む入賞者4名の表彰式と、公式ポスターのデザインをモチーフにした大型看板の除幕式を県庁本館前庭で行いました。

### ○令和7年5月
### 「神楽」ユネスコ無形文化遺産登録推進総決起大会



～日本の宝「神楽」を世界の宝へ～本県そして日本を代表する伝統文化「神楽」
この神楽の2028年ユネスコ無形文化遺産登録に向けて、全国の熱い思いを一つにする総決起大会が開催されました。

### ○令和7年8月
### 口蹄疫終息15年を迎えての意見交換会




平成22年に発生した口蹄疫の終息宣言日から15年となる8月27日に意見交換会を開催しました。当時を振り返り、二度と発生させないという想いを次世代を担う高校生・大学生に継承しました。

### ○令和7年10月
### マイナビ ツール・ド・九州2025 宮崎・大分ステージ開催



10月13日にツール・ド・九州初の県境をまたぐコースとして、大分県と共同開催で初開催しました。コースとなった延岡市内には約1.5万人の観客が集まり、大会を通じ本県の魅力を発信することができました。

### ○令和7年4・5・10月・令和8年1月
### 第30回宮崎国際音楽祭　県立美術館開館30周年記念式典
### 第30回若山牧水賞授賞式




令和7年4・5月に第30回宮崎国際音楽祭を29日間にわたり開催、令和7年10月には県立美術館開館30周年記念式典を開催し、記念特別展のギャラリートーク等を実施しました。令和8年1月には第30回若山牧水賞授賞式を執り行い、山中　律雄氏が授賞されました。

### ○令和7年7月
### 宮崎県外国人材受入・定着支援センター開所




県内企業の外国人材の受入れに対する不安を解消し、安定的な受入れや定着促進の体制を構築できるよう支援拠点を整備しました。センターでは相談対応を行うほか、出張セミナー、伴走支援等のさまざまな取組で県内企業を支援します。

### ○令和7年9月
### 大阪・関西万博　九州7県合同催事出展




9月3日から5日、大阪・関西万博 EXPOメッセ「WASSE」にて、九州7県合同で催事出展し、本県が誇る「食」「スポーツ」「自然」「森林資源」「神話」といった魅力を、約47,000人の来場者に向けて発信しました。

### ○令和7年10月
### 「森の国・木の街」づくり宣言（九州初）




自治体や企業等が、建築物の木造化などの木材利用の推進や、木材利用の効果の見える化に取り組むことを宣言する『「森の国・木の街」づくり宣言』に九州で初めて参画しました。

○令和7年11月
「ひなたの『とも活』推進大会」の開催




「みやざき女性の活躍推進会議」の設立10周年を記念して基調講演やパネルディスカッションを開催しました。大会では、女性活躍推進の歩みと今後の展望について活発に意見が交わされました。

○令和7年12月
東九州自動車道「宮崎PA～清武IC」4車線化工事完成



県内の東九州自動車道で初めてとなる4車線化工事が完成しました。災害時における信頼性の高い通行機能の強化や、平常時における時間信頼性や事故防止に大きく寄与することが期待されます。

○令和8年1月・3月
ひなたベロドローム宮崎完成
アスリートタウン延岡アリーナ完成
ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI完成



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポの競技が行われる3つの施設が完成しました。
（令和8年1月：ひなたベロドローム宮崎）
（令和8年3月：アスリートタウン延岡アリーナ）
（令和8年3月：ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI）

○令和8年3月
宮崎港　海外クルーズ船の初寄港




仏船籍の客船「ル・ソレアル」（乗客定員264名）が3月20日・28日に宮崎港へ初寄港。乗客を温かくお迎えし、宮崎の魅力を発信しました。

○令和7年11月
「神楽」ユネスコ無形文化遺産へ提案決定




「神楽」がユネスコ無形文化遺産の国内提案候補に選定され、2028年の登録に向けて大きく前進しました。

○令和7年12月
みやざきの新幹線を考えるシンポジウム in延岡




新幹線整備について広く県民の理解を深めるとともに、本県を含む幹線鉄道ネットワーク整備の今後の在り方や方向性についての議論を活性化し、機運醸成を図るためのシンポジウムを開催しました。

○令和8年2月
侍ジャパン宮崎春季キャンプ




2月14日から24日に、ひなたサンマリンスタジアム宮崎において、侍ジャパンがWBCに向けた事前合宿を実施しました。期間中は約20万人が会場を訪れ、大いに賑わいました。

○令和8年3月
男子国際テニス大会
「児湯食鳥みやざきチャレンジャー」の開催




3月29日から4月5日にかけて「ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI」で、テニスのメジャー大会への出場につながるATPチャレンジャー大会が本県で初開催されました。大会を通して世界水準のテニスコートを国内外にPRすることができました。

# 11 宮崎県のあゆみ



## 宮崎県の歴史



昔の県庁周辺（昭和初期）

宮崎は、まっすぐに日の出る方に向いているということから、古(いにしえ)より「日向(ひむか)の国」と呼ばれています。また、日本初代天皇・神武天皇にちなむ伝承が存在し、宮のあたりとか、所在地というような意味で、「宮崎」の地名が起こったといわれています。

古代のロマンにみちた神話・伝承や伝統文化が数多く残り、高千穂町・高原町の天孫降臨神話、椎葉村の平家落人伝説、美郷町（旧南郷村）の百済王族亡命伝説などが有名であり、西都市には、巨大な西都原古墳群が広がっています。

江戸時代、現在の宮崎県となる範囲は延岡藩（内藤氏等）・高鍋藩（秋月氏）・佐土原藩（島津氏）・飫肥藩（伊東氏）・鹿児島藩（島津氏）・人吉藩（米良山・椎葉山）・天領に分かれており、小藩分立の状態でした。

明治６年、美々津県と都城県を廃し宮崎県が置かれ、明治９年に廃止となり、鹿児島県に合併され、西南戦争のときは本県も戦場となりました。

明治 16 年 5 月 9 日、分県運動の結果、宮崎県が再置され、今日に至っています。



今の県庁周辺

**置県後のあゆみ**

| | | |
|---|---|---|
| 明治 | 16年 5月 | 宮崎県再置 |
| | 7月 | 宮崎県庁開庁 |
| 大正 | 12年12月 | 日豊本線開通 |
| 昭和 | 7年10月 | 県庁舎（現在の本館）落成 |
| | 22年 4月 | 第1回知事、市町村長選挙 |
| | 24年 5月 | 宮崎大学設置 |
| | 29年12月 | 宮崎空港開港（極東航空ローカル線） |
| | 41年10月 | 宮崎空港ジェット化（地方空港として日本初） |
| | 48年 4月 | 第24回全国植樹祭（夷守台） |
| | 49年 6月 | 宮崎医科大学開学 |
| | 54年 9月 | 第34回国民体育大会夏季大会 |
| | 10月 | 〃 秋季大会 |
| | | 第15回全国身体障害者スポーツ大会 |
| | 56年10月 | 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通 |
| | 11月 | 「新ひむかづくり運動」県民会議発足 |
| | 61年11月 | 第10回全国育樹祭（夷守台） |
| | 62年 6月 | 宮崎港開港 |
| | 63年 7月 | 宮崎・日南海岸リゾート構想がリゾート法第1次指定 |
| 平成 | 4年 8月 | 全国高等学校総合体育大会 |
| | 5年10月 | 第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会 |
| | 6年 4月 | フォレストピア学びの森学校開校 |
| | 7年10月 | 県総合文化公園グランドオープン |
| | 11月 | 第15回全国豊かな海づくり大会（油津港） |
| | 8年 3月 | 第1回宮崎国際室内楽音楽祭 |
| | 7月 | 空港連絡鉄道開通 |
| | 9年 4月 | 県立看護大学開学 |
| | 12年 4月 | 太平洋・島サミット |
| | 7月 | 九州・沖縄サミット宮崎外相会合 |
| | 8月 | 細島港国際コンテナターミナル供用開始 |
| | 13年 4月 | 宮崎～ソウル国際定期便運航開始 |
| | 9月 | 「日本スポーツマスターズ2001宮崎大会」開催 |
| | 15年 6月 | ひむか神話街道全線開通 |
| | 16年 4月 | 第55回全国植樹祭開催 |
| | | 県立西都原考古博物館開館 |
| | 20年 6月 | 宮崎～台北国際定期便運航開始 |
| | 21年10月 | 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクみやざき2009」開催 |
| | 22年 4月 | 県内で口蹄疫発生、同年８月終息宣言 |
| | 8月 | 第34回全国高校総合文化祭「全国高総文祭・みやざき2010」開催 |
| | 23年11月 | 宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」誕生 |
| | 24年 4月 | ドクターヘリ運航開始 |
| | 25年11月 | 宮崎キャビア1983販売開始 |
| | 26年 9月 | 第6回IBAF女子野球ワールドカップ2014宮崎大会開催 |
| | 27年11月 | 「第18回全国農業担い手サミットinみやざき」開催 |
| | 12月 | 高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定 |
| | 28年 4月 | 東九州自動車道椎田南～豊前間供用開始により宮崎市～北九州市間全線開通 |
| | 7月 | 霧島錦江湾国立公園が国立公園満喫プロジェクト先導的モデル地域に選定 |
| | 29年 6月 | 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録決定 |
| | 30年 5月 | 日本遺産認定「古代人モニュメント―台地に絵を描く南国宮崎の古墳景観―」（西都・宮崎市・新富町） |
| | 31年 4月 | 「みやざき林業大学校」開講 |
| 令和 | 元年 6･7月 | ラグビーワールドカップ2019日本代表事前チームキャンプ実施 |
| | 9月 | 2019 ISAワールドサーフィンゲームス開催 |
| | | ラグビーワールドカップ2019イングランド代表公認チームキャンプ実施 |
| | 2年 | 新型コロナウイルス感染症の流行 |
| | 7月 | 防災庁舎の完成 |
| | 3年 7･8月 | 東京2020オリンピック・パラリンピック海外代表チーム事前合宿 |
| | 7~10月 | 「国文祭・芸文祭みやざき 2020」開催 |
| | 4年 1月 | 新県立宮崎病院開院 |
| | 4月 | ソラシドエアサーフィンセンター開設 |
| | 10月 | 「第12回全国和牛能力共進会」4大会連続内閣総理大臣賞（最高位）受賞 |
| | 5年 4月 | アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎開設 |
| | | 「G7宮崎農業大臣会合」開催 |
| | 10月 | 置県140年記念イベントとして「宮崎県人会世界大会」開催 |
| | 6年 9月 | 日向坂 46「ひなたフェス 2024」開催 |
| | 12月 | KUROKIRI STADIUM（宮崎県山之口陸上競技場）完成 |
| | | パーソルアクアパーク宮崎（宮崎県プール）完成 |
| | 7年 3月 | メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場）リニューアルオープン記念式典開催 |
| | 3月 | 都城志布志道路全線開通 |
| | 11月 | 「神楽」ユネスコ無形文化遺産へ提案決定 |
| | 8年 3月 | アスリートタウン延岡アリーナ（新宮崎県体育館）完成 |
| | | ひなた TENNIS PARK MIYAZAKI（宮崎県総合運動公園庭球場）完成 |

# 12 全国から見た宮崎県



| 指標名 | 単位 | 全国 | 宮崎県 | 順位 | 対全国比(%) | 調査年・資料出所 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総面積 | ㎢ | 377,980 | 7,734 | 14 | 2.05 | R7.10.1 国土地理院 |
| 合計特殊出生率 | 一 | 1.15 | 1.46 | 2 | – | R7年 厚生労働省 |
| 県(国)内総生産(名目) | 億円 | 5,951,843 | 39,853 | 39 | 0.67 | R5年度 内閣府、宮崎県 |
| 一人当たり県(国)民所得 | 千円 | 3,521 | 2,695 | 46 | 76.6 | 〃 〃 |
| 消費者物価地域差指数(総合) | 一 | 100.0 | 97.0 | 45 | – | R6年平均 総務省 |
| 総農家数 | 戸 | 1,394,135 | 24,296 | 26 | 1.74 | R7.2.1 農林水産省 |
| 農業産出額 | 億円 | 108,200 | 3,725 | 7 | 3.44 | R6年 〃 |
| ピーマン収穫量 | トン | 143,000 | 24,300 | 2 | 16.99 | 〃 〃 |
| さといも収穫量 | 〃 | 118,900 | 11,800 | 2 | 9.92 | 〃 〃 |
| きゅうり収穫量 | 〃 | 502,900 | 58,700 | 1 | 11.67 | 〃 〃 |
| 肉用牛飼養頭数 | 頭 | 2,595,000 | 248,400 | 3 | 9.57 | R7.2.1 〃 |
| 豚飼養頭数 | 〃 | 8,798,000 | 721,900 | 3 | 8.21 | R6.2.1 〃 |
| ブロイラー飼養羽数 | 千羽 | 144,859 | 28,155 | 2 | 19.44 | 〃 〃 |
| スギ素材生産量 | 千㎥ | 12,184 | 1,670 | 1 | 13.71 | R7年 〃 |
| 乾しいたけ生産量 | トン | 1,574 | 270 | 2 | 17.15 | R6年 〃 |
| 海面漁業・養殖業生産量 | 〃 | 3,589,122 | 95,999 | 10 | 2.67 | 〃 〃 |
| 近海かつお一本釣漁獲量 | 〃 | 22,421 | 16,820 | 1 | 75.02 | 〃 〃 |
| 製造事業所数 | 事業所 | 222,200 | 1,533 | 40 | 0.69 | R6.6.1 総務省・経済産業省 |
| 製造品出荷額等 | 億円 | 3,732,388 | 18,365 | 41 | 0.49 | R5年 〃 |
| 事業所数(卸売業・小売業) | 事業所 | 860,065 | 7,822 | 34 | 0.91 | R6.6.1 〃 |
| 年間商品販売額 | 億円 | 6,247,083 | 27,135 | 35 | 0.43 | R5年 〃 |
| 道路改良率(国県道) | % | 78.1 | 71.0 | 37 | – | R6.3.31 国土交通省 |
| 人口千人当たり自動車保有台数 | 台 | 668.0 | 925.4 | 7 | – | R7.3.31 自検協 |
| 都道府県別1人当たり都市公園等面積 | ㎡ | 11.0 | 20.8 | 5 | – | R7.3.31 国土交通省 |
| 人口10万人当たり一般病院一般病床数 | 病床 | 710.6 | 862.9 | 17 | – | R6.10.1 厚生労働省 |
| 高等学校等進学率 | % | 98.6 | 97.4 | 46 | – | R7年3月卒 文部科学省 |
| 大学等進学率 | 〃 | 62.6 | 49.0 | 45 | – | 〃 〃 |

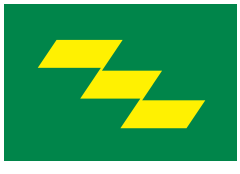
※「県(内)総生産(名目)」及び「一人当たり県(国)民所得」の順位はR4年度

## 県のシンボル



**県き章（明治 45.1.14 制定）**

「日向」の文字、つまり宮崎県をあらわしたもので、「日」を中心に「向」が三方に伸びて、躍進する県のすがたを示しています。



**県旗（昭和 39.12.22 制定）**

この旗は、県のシンボルであるみどりと太陽(黄色)をあらわし、宮崎の「ミ」をかたちどり、段階をふんで高まる県の躍進のすがたをあらわしています。

**県の木**



フェニックス



ヤマザクラ



オビスギ

**県の鳥**



コシジロヤマドリ

**県の花**



ハマユウ



# 日本のひなた宮崎　国スポ・障スポ競技会場

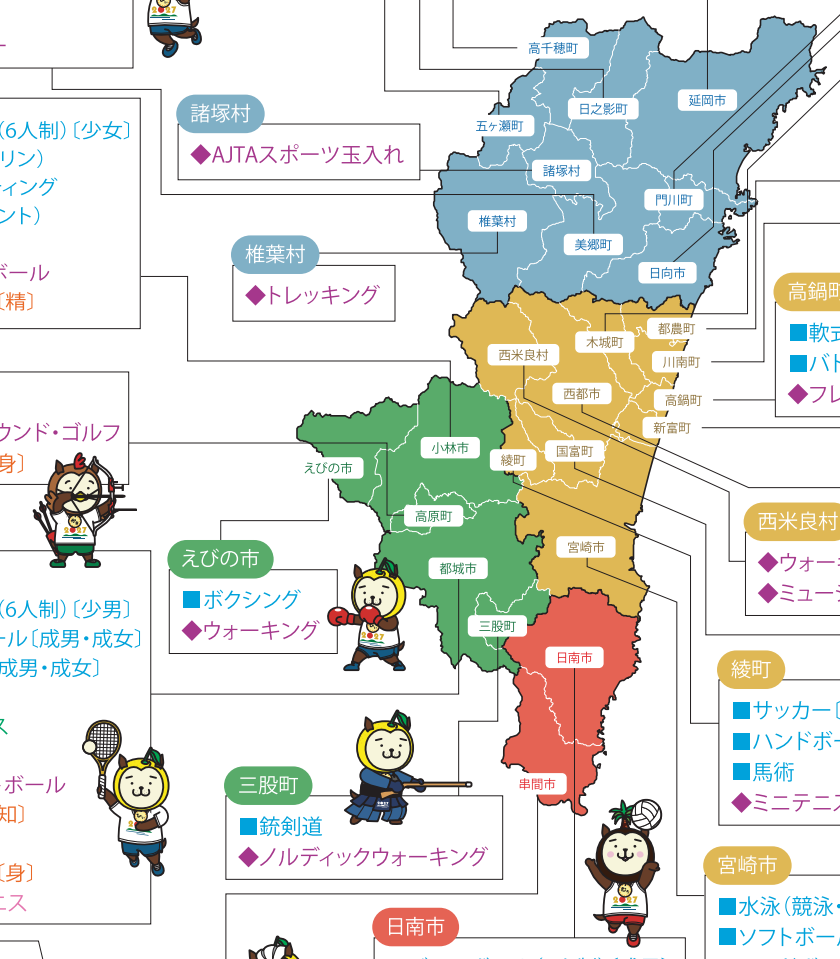
令和8年3月時点

web版はこちら

国民スポーツ大会　■…正式競技（37）・特別競技（1）　●…公開競技（6）　◆…デモンストレーションスポーツ（37）

全国障害者スポーツ大会　□…正式競技（14）　●…オープン競技(4)

〔成男〕成年男子　〔身〕身体障がい者が出場できる競技
〔成女〕成年女子　〔知〕知的障がい者が出場できる競技
〔少男〕少年男子　〔精〕精神障がい者が出場できる競技
〔少女〕少年女子




## 門川町
■軟式野球
■ソフトボール〔成男〕
◆ラジオ体操

## 日向市
■バレーボール（ビーチバレー）
■バスケットボール〔少男・少女〕
■軟式野球
■ソフトボール〔少男・少女〕
◆サーフィン
□ブラインドベースボール〔身〕

## 高千穂町
■剣道
◆モルック

## 延岡市
■水泳（オープンウォータースイミング）
■バレーボール（6人制）〔成女〕
■体操（競技・新体操）
■軟式野球　■柔道
■ソフトボール〔成男〕
●武術太極拳
●パワーリフティング
◆3B体操　◆ウォーキング
□フットソフトボール〔知〕
□バスケットボール〔知〕
□車いすバスケットボール〔身〕

## 五ヶ瀬町
■相撲
◆フロアカーリング

## 日之影町
■なぎなた
◆森林セラピーウォーキング

## 木城町
■スポーツクライミング
●エアロビック
◆エンジョイ エアロビック

## 美郷町
■バスケットボール〔少女〕
◆キャッチング・ザ・スティック
◆ボッチャ
◆ラダーゲッター

## 川南町
■軟式野球
◆ウォーキング

## 都農町
■ホッケー
◆enjoy T&F GP
◆ラジオ体操
◆アームレスリング

## 小林市
■バレーボール（6人制）〔少女〕
■体操（トランポリン）
■ウエイトリフティング
■カヌー（スプリント）
■ローイング
◆ソフトバレーボール
□バレーボール〔精〕

## 諸塚村
◆AJTAスポーツ玉入れ

## 椎葉村
◆トレッキング

## 高鍋町
■軟式野球
■バドミントン
◆フレッシュグラウンド・ゴルフ

## 新富町
■サッカー〔少男〕
◆ユニカール
□サッカー〔知〕

## 高原町
■アーチェリー
◆健幸増進グラウンド・ゴルフ
□アーチェリー〔身〕

## 西都市
■サッカー〔少女〕
■軟式野球
◆少年女子サッカー

## 都城市
■陸上競技
■バレーボール（6人制）〔少男〕
■バスケットボール〔成男・成女〕
■ソフトテニス〔成男・成女〕
●ゲートボール
●パウンドテニス
◆パークゴルフ
◆U12バスケットボール
□陸上競技〔身・知〕
□ボッチャ〔身〕
□バレーボール〔身〕
●ブラインドテニス

## 西米良村
◆ウォーキング
◆ミュージックレクリエーション

## えびの市
■ボクシング
◆ウォーキング

## 綾町
■サッカー〔成男〕
■ハンドボール〔成男・成女〕
■馬術
◆ミニテニス

## 国富町
■フェンシング
◆スポーツウエルネス吹矢

## 三股町
■銃剣道
◆ノルディックウォーキング

## 宮崎市
■水泳（競泳・水球・アーティスティックスイミング）
■ソフトボール〔成女〕　■テニス　■ライフル射撃
■ハンドボール　■ラグビーフットボール
■自転車（トラック）　■空手道　■ソフトテニス〔少男・少女〕
■ボウリング　■卓球　■ゴルフ　■トライアスロン
◆ラジオ体操　◆少林寺拳法　◆BMX・スケートボード
◆ビリヤード　□水泳〔身・知〕　□ボウリング〔知〕
□卓球（サウンドテーブルテニス含む）〔身・知・精〕
□フライングディスク〔身・知〕　□ソフトボール〔知〕
●ふうせんバレーボール　●卓球バレー　●パラトライアスロン

## 日南市
■バレーボール（6人制）〔成男〕
■レスリング
■セーリング
■高等学校野球
●綱引
◆ターゲット・バードゴルフ
□バレーボール〔知〕

## 串間市
■弓道
■自転車（ロード）
◆少年・少女レスリング
◆ジュニアサッカー

## 熊本県熊本市
■水泳（飛込）

## 鹿児島県湧水町
■カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）


みやざきのうごき2026
2026年　6月発行
宮　崎　県
宮崎県ホームページ
https://www.pref.miyazaki.lg.jp


公式 HP　X　Instagram　LINE　YouTube

**SNS、更新中！**
**フォローお待ちしています!!**